

3 業務体制・運営業務・管理業務

評価項目			自己評価		市	
仕様書項目		内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
業務体制	職員配置等 9(4)~(8)	資料・図書館学習・システム担当	3	資料担当責任者：仕様書の通り業務を行った。 図書館学習担当者：学校やこども園へ司書の選書により団体貸出を行った。 システム担当者：適宜迅速に対応した。	3	適切に実施している
		職員の資質向上・人材育成の取組	4	図書館流通センター主催の9月「図書館ボランティア研修」11月「個人情報保護研修」12月「事故防止・交通安全運転研修」「電子図書館の選書研修」を実施。また、竹原市出前講座と連携し,9月「介護保険講座」,10月「認知症について学ぼう」を実施。いずれもスタッフ全員受講した。	4	関係機関の研修に参加するなど、職員の資質向上や人材育成に熱心に取り組んでいる。
運営業務	利用者サービス 10-(2)(6)(17)(18), 15-(2)	窓口サービス	4	正確かつ迅速な対応を心掛けた。 問い合わせをしやすい環境づくりに努め,利用者アンケートの意見欄でも職員について,「いつも丁寧に対応してくれる」「親切に気持ちよく対応してくれる」などの意見をいただいた。	4	職員の接遇について、利用者からの満足度は高く、利用者に寄り添った対応ができています。
		リクエスト	3	資料収集方針に基づき購入。購入できない場合は、相互貸借により対応した。	3	適切に実施している。
		レファレンス	3	利用者の課題解決への対応に努め、調査依頼に対応した。	3	適切に実施している。
		乳幼児・児童と保護者	4	12月東広島竹原人権委員協議会との共催にて「クリスマスキッズ・ハート教室 ～こども人権教室～」へ参加し,絵本読み聞かせを実施した。	4	他団体とも連携し、適切に実施している。
		青少年	4	中学校・義務教育学校(後期課程)へYA通信を配布し、読書の大切さや楽しさなどの啓発 に努めた。また、竹原中学校・吉名学園へ電子図書利用推進を目的とした出前授業を実施した。	4	本を通して青少年の健全育成に寄与している。
		高齢者・障害のある人	4	9月施設利用者に対して昔の竹原の写真を見ながら会話する「回想法によるイベント」,11月高齢者施設での読み語りとして「出張おはなし会」を実施し,高齢者の方へ人とのふれあい創出機会と本の楽しさを思い出させる演出を行った。	4	様々なイベントを実施し、高齢者・障害者に交流の機会の提供ができています。
		学習支援	3	学校図書館司書や学校教職員の求める資料を提供した。	3	適切に実施している。

運 営 業 務	評価項目		自己評価		市	
	仕様書項目	内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
	利用者サービス 10-(2)(6)(17)(18), 15-(2)	郷土資料コーナー	3	令和6年7月より,「平和について考えてみようコーナー」を設置し,郷土の歴史,文化に関する資料の収集に努めた。	3	適切に実施している。
		特設コーナー	4	新着図書コーナー, 行事コーナーなど, 時事ニュースに合わせ幅広い分野の資料紹介を実施。昨年,設置した俳句ポストでは,応募された作品の中から, 雑誌「現代俳句」6月号に特選者1名が選出,12月号に入選者として1名選出され, 館内掲示でお知らせした。また, 竹原市と包括連携協定を結んでいるドラゴンフライズ「寺嶋 良」選手のおすすめ本コーナーを常設化し, 寺嶋選手の活動応援, 支援を行った。	4	新着図書コーナー、行事コーナーで時節に合わせた資料展示を行うとともに、ドラゴンフライズ寺嶋選手のコーナを常設し、活動を応援するなど、特色あるコーナーを作りに取り組んでいる。
		利用者からの意見・要望等の対応	3	「利用者の声」投書箱への投書はなし。今後も意見・要望の投書には, 出来るだけ迅速に回答していく。	3	適切に実施している。
		利用者満足度調査等の実施	3	館内での利用者アンケート(期間:令和5年11月26日～12月25日 人数198名)を実施。意見欄において,職員について, 「いつも丁寧に対応してくれる」「親切に気持ちよく対応してくれる」などの意見をいただいた。	3	適切に実施している。
		個人情報保護	3	図書館流通センター主催での「個人情報保護研修」を全スタッフ受講。個人情報保護における認識を更に高め, 漏洩防止に努めた。	3	適切に実施している。
資料管理 10-(3)(4)		資料収集計画の策定	3	資料収集方針に基づき, これまでの蔵書構成を踏まえた計画を策定した。	3	適切に実施している。
		蔵書構築	3	資料収集計画を策定し, これまでの蔵書のバランスを保ちつつ, 近年の傾向も取り入れた。	3	適切に実施している。
		資料選定・受入発注	3	蔵書バランスを考慮のうえ選定し, 発注, 受入を行った。	3	適切に実施している。
		資料の除籍・廃棄	4	11月 対象年数や判断基準を明確化し,除籍処理をスピーディー及びスムーズにするために除籍基準の改定を行った。結果,蔵書冊数を13,031冊減冊した。(2024年度3月末201,880冊から2025年1月末現在188,849冊)また,10ヶ所の停本所において,開設以来実施できなかった蔵書見直し及び入替に着手した。(2025年1月末現在4ヶ所実施)	4	蔵書目標150,000～160,000冊に向けて、市立竹原書院図書館資料除籍基準を対象年数や判断基準を明確化するために改定し、素早くかつ丁寧な除籍処理ができた。停本所の蔵書の見直し・入替に着手し、市民に新たな本にふれる機会を提供できた。
		資料の整理（蔵書点検）・防虫等	3	防虫作業を5月～7月, 蔵書点検を11月に実施した。	3	適切に実施している。

評価項目		自己評価		市	
仕様書項目	内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
行事の企画・実施 10-(5)	絵本の会	3	4月(8月を除く)より毎月第2土曜日に定例の絵本の会を実施。毎年の恒例行事として根付いてきた。参加者からは楽しかったの声を頂いた。	3	適切に実施している。
	あそびのひろば (旧文庫まつり)	3	読み語りグループの協力により、あそびのひろばの開催継続実施。準備、設営など滞りなく実施した。.	3	適切に実施している。
	読書会	3	読書会における会場・課題本の手配や資料の準備、図書館ホームページに感想文の掲載を行った。	3	適切に実施している。
	新規・自主事業	4	〔新規事業〕 高齢者及び介護家族向け講座として,9月「みんなで支える介護保険講座」10月認知症サポーター養成講座として「認知症について学ぼう」実施。高齢者へふれあい・会話を目的とした,9月・10月「回想法による交流イベント」11月「出張おはなし会」を実施。 〔自主事業〕 7月～11月読み語りボランティアたまたばこ「読み語りボランティア講座 第1回～第4回」開催実施。(参加者 各回10名) 9月 画家・絵本作家・鳥の巣研究家「鈴木まもる講演会」（参加者165名）実施。(豊田・竹原PTA連合会共催)	4	読み語り講座などの講座を実施するなど、新規・自主事業を多く取り組んでいる。
学校、こども園等との連携 10-(7)	団体貸出等	3	学校、こども園、保育所への団体貸出を継続して行った。先生からのリクエスト本に対し、図書の準備及び貸出対応を行った。	3	適切に実施している。
	見学・体験学習の受け入れ	3	〔図書館見学〕 忠海学園,竹原小学校,竹原西小学校,からの申し出があり、対応した。 〔キャリア・スタート・ウィーク〕 竹原中学校1名,忠海学園1名,賀茂川中学校2名受入、図書館業務,司書業務の説明及び指導を行った	3	適切に実施している。
	学校図書館司書との連携	3	学校図書館司書の連絡会を毎月行い、求める資料の収集、提供を行った。	3	適切に実施している。
広報 10-(8)(20)	図書館ホームページの運用	3	図書館のホームページを継続運用し、適宜情報を発信した。	3	適切に実施している。
	「としょかんだより」等の広報	3	毎月発行実施。市内地域回覧。各月ごとでの図書及びイベント最新報告を掲示。	3	適切に実施している。

	評価項目		自己評価		市	
	仕様書項目	内 容	評価点	評価内容	評価点	評価内容
	電子図書サービスの運用 10-(9)	電子図書資料管理	3	期限付き(1年)児童書読み放題パックの期限切れに伴い,今年度は新たに読み放題パック「Gakken 図鑑」を購入。小説と調べ学習のコンテンツを中心に,電子図書前年度よりプラス153冊拡充した。24年12月末現在1,347冊（2024年3月末1,194冊）	3	電子図書資料の管理に適切に取り組んでいる。
運 営 業 務	電子図書サービスの運用 10-(9)	利用案内	3	電子図書の情報を，毎月ホームページやX，新刊案内，図書館だより等で発信を行った。 保健センターにて，絵本及び育児関連本の紹介を行った。	3	適切に実施している。
	移動図書館 10-(10)	移動図書館の巡回	4	15年ぶりに移動図書館車「わかたけ号」が大型車3号から小型車4号へとなった。課題であった道路事情や駐車スペースなどで利用出来なかった地域への訪問が可能となり,訪問スポット数を38ヶ所から40ヶ所へ増設した。より地域の皆様とのふれあいを大事にしながら巡回を行った。	4	小型化した「わかたけ4号」で、これまで大型であった1～3号で巡回できなかった地域へ訪問することが可能になった。また、小型化したことで、より安全に考慮し、巡回を行っている。
		車両の点検	3	日常点検，定期点検を行った。	3	適切に実施している。
	移動図書館 10-(10)	事故発生時の対応	3	今年度は事故発生(接触含む)なし。発生した場合は、現場対応処置後，事故報告，その後速やかに修繕対応を実施していく。	3	適切に実施している。
	図書館ボランティア 10-(11)	読み語りボランティアとの連携	3	ボランティア団体との連携により，今年度もおはなしひろば(旧文庫まつり)を開催した。また,読み語り後継者の育成を目的とした「読み語りボランティア講座」全4回を開催した。	4	読み語りの継承、後継者育成を目的に、読み語りボランティア講座を実施し、数名が読み語りグループへ加入し、後継者確保及び育成に繋がった。
		図書館ボランティアの構築	4	今年度新たな登録なし。計12名。配架・修理を主に活動実施した。今後もボランティア募集を継続していく。	4	図書館サービス理解につながる図書館ボランティアを募集し、活動を進めている。
	県内図書館等関係機関との連携 10-(12)		3	各関係機関との連携，協力に努めた。	3	適切に実施している。
	事業（月次・年次）報告実施状況 14-(1)		3	毎月の月次報告を適切に行った。	3	適切に実施している。
	施設及び設備の保守管理 11-(1)，12		3	施設の保全に努めた。	3	適切に実施している。
管 理 業 務	施設及び設備の清掃・衛生・維持管理管理 11-(3)		3	日常の定期清掃及び年3回のワックスかけ・窓清掃を委託し実施した。	3	適切に実施している。
	緊急時対応及び安全管理 11-(2)(9)(10)		3	6月フジ竹原店の避難訓練指示書に従い、避難訓練及び防火教育をスタッフ全員で受講した。	3	適切に実施している。
	備品等の管理 11-(4)		3	備品台帳に基づき管理を行った。また,11月 市と図書館双方一緒に備品台帳と現物確認を実施した。	3	備品台帳を作成し、適切に管理できている。

	テナント関係機関との連携・協力 11-(10)エ	3	フジ竹原店の会議に参加するなど、関係機関との連携に努めた。	3	適切に実施している。
--	--------------------------	---	-------------------------------	---	------------

*評価点について

評点の考え方	点数
特に優れている	4
出来ている	3
概ね出来ている	2
改善が必要(劣っている)	1

4、総合評価

評価者	評価点	内 容
指定管理者	3	令和2年策定,市立竹原書院図書館運営計画の蔵書冊数(システム契約200,000点以下)目標150,000～160,000冊への取組として,11月対象年数や判断基準を明確化し,除籍処理をスピーディー及びスムーズにするために「除籍基準の改定」を行った。結果,蔵書冊数,2024年度3月末201,880冊から2025年1月現在188,849冊(蔵書点数184,784点)と13,031冊の減冊を実施。引き続き,計画蔵書冊数に向けて取り組んでいく。また,利用者の利便性を高める為に,10ヶ所の停本所において,開設以来実施出来なかった蔵書見直し及び入替に着手し,2024年12月末現在,教育相談室,荘野,中通,大乘の4ヶ所を実施。残り6ヶ所についても順次着手していく。 講演会においては,豊田・竹原PTA連合会との共催で,画家・絵本作家・鳥の巣研究家「鈴木まもる講演会」を実施。また,地元読み語りボランティアたまたばこと,読み語り後継者の育成を目的とした「読み語りボランティア講座」を年4回開催実施。市民のイベント参加による知識向上の喜びや楽しさの普及に尽力した。参加者からの高評価もあり,今後も市民が喜んでいただけるイベント事業を継続していく。 今年度4月,15年ぶりに移動図書館車「わかたけ号」が大型車3号から小型車4号へととなった。課題であった,道路事情や駐車スペースなどで利用できなかった地域への訪問が可能となり,訪問スポット数を38ヶ所から40ヶ所へ増設した。今後も,より地域の皆様とのふれあいを大事にしながら,移動図書館車巡回に取り組んで行く。
市	3	指定管理4年目となり、図書館サービス及び管理運営業務を適切かつスムーズに運営できている。 蔵書冊数については、目標の150,000～160,000冊に向けて、市立竹原書院図書館資料除籍基準を対象年数や判断基準を明確化するために改定し、素早くかつ丁寧な除籍処理ができていた。 小型車わかたけ4号の運行を開始し、これまで大型車で巡回できなかった地域へ訪問することが可能となり、訪問スポットも増設し、より多くの市民が利用できるような運用ができています。 読み語りの継承、後継者育成を目的に、読み語りボランティア講座を実施し、数名が読み語りグループへ加入し、後継者確保及び育成に繋がった。 全国の図書館の受託による管理運営や事業展開により培った図書館運営のノウハウと人材ネットワークを活かした更なる図書館サービスの充実を期待する。 今年度は、指定管理期間最終年度になるが、事業提案した新規・自主事業については、計画的に実施すること。